

青年技能・技術優秀士 推 せ ん 調 書 (記載例)

要件	①年齢39歳以下の人 ②同一職業に技能・技術職として7年以上従事している人、または全国規模の技能・技術競技会等で優秀な成績を残した人 ③優れた技能・技術を有し、技能・技術の向上、職種 の発展に努めるとともに、将来を嘱望される人			職 種 名 〇〇工 (※原則、「久留米市技能・技術奨励者の候補者推薦基準別紙の別表」に記載されている職種をご記入ください。)				
	ふりがな	く る め じ ろ う			在 職 期 間		在 職 年 月 数	合 計 在 職 年 月 数
氏 名	久留米 次郎			有限会社〇〇〇〇		平成 28 年 4 月 1 日	10 年 0 月	10 年 0 月
生 年 月 日	(4月1日現在の満年齢) 平成8年12月25日生 (29歳)							
性 別	Ⓜ ・ 女							
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町5-5 TEL:0942-〇〇-〇〇〇〇							
就 業 先	名 称	有限会社〇〇 企業全体の従業員数：〇〇人						
	所 在 地	代表者 〇〇 〇〇 〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町6-6 TEL:〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 FAX:〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇						
<p>在職年月数は月単位で記入すること。また、現職については、表彰のおこなわれる年度の4月1日をもって終期とすること。</p>								
推 せ ん 基 準	<p>下記ア～カのいずれか該当するものに○をつけてください。 ※該当する項目については、次の設問以降の該当箇所にてその内容を具体的にご記入ください。 ㊦、技能検定関連職種については、一級技能検定に合格した人又は技能検定委員の経験がある人若しくはこれと同等以上と認められる人 ㊧、全県規模程度の技能・技術競技会等において優秀な成績を収めた経験を有する人 ㊨、技能・技術五輪大会等に出場したことのある人 工、特許又は実用新案等を有している人 ㊩、技能・技術に関する創意工夫・改善、新手法や新商品開発を積極的に行い、生産性の向上に寄与した人</p>							
ア 免 許 ・ 資 格 等	技能検定合格歴	級	職 種 (作業名)			取 得 年 月		
		1 級	〇〇技能士 (〇〇) 〇〇技能士 (〇〇) 〇〇技能士 (〇〇)			平成 26 年 4 月		
技能検定委員経歴	検定名称		主 催 者 等		就 任 期 間 (年 月 ~ 年 月)			
	なし							
イ ・ ウ	技能・技術競技会、技能・技術五輪大会等入賞歴	競技大会等の名称		順 位	実 施 団 体		実 施 年 月	
		技能五輪全国大会		2 位	〇〇協会		令和 4 年 8 月	
		技能五輪全国大会		1 位	〇〇協会		令和 5 年 8 月	
		国際技能競技大会		2 位	〇〇協会		令和 6 年 1 2 月	
		国際技能協議大会		2 位	〇〇協会		令和 7 年 1 2 月	

工 用 新 案 等	名称		取得内容		取得月日				
	なし								
オ 工 夫 ・ 改 善 ・ 考 案 等	<p>(技能・技術に関して、創意工夫・改善・新手法の考案などの内容について、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年主流となりつつある〇〇の手法を社内でも取り入れるように提案し、多くの技術者が〇〇の手法を取り入れ始め、作業全体の日程短縮につながる。他にも、業務効率の改善、納期の短縮等に向け、他の自治体等で取り入れられている技法や機器を視察に行くなど、積極的な業務改善に取り組む。 ・社内技術者の技術力向上を目的に、社内ワーキンググループを設立。月に2～3回程度集会を行い、そこであがった意見や要望を業務に落とし込むために、他の会社の例を参考にするなど、精力的に活動している。 ・ワーキンググループ内で出た〇〇の手法の安全性・効果に関する疑問を解消するために、2年間にわたり検証を行う。その結果、〇〇の手法に改善を加えた〇〇という手法を考案。2年間社内で実証実験を繰り返し、現在では所属する組合内で、主流な手法として取り入れられている。 								
	将 来 性	<p>(勉強会への参加、技能・技術競技大会への出場、関連資格の取得など技能・技術向上に向けた取組を具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合が実施している勉強会に入社当時から毎年参加。加えて、業務改善に役立ちそうな情報を収集するため、他の会社、組合に対して働きかけを行い、合同の勉強会を開催するなど精力的に活動している。 ・令和4年から5年にかけて技能五輪全国大会に参加、令和5年は2位、令和6年に1位を受賞するなど、優れた成績を残している。令和6年からは国際競技大会に出場。令和6年及び7年いずれも2位を受賞。 ・今後は、他の若手技能者が技能五輪全国大会・国際大会に出場し、上位入賞できるように後進の育成にも注力している。 							
研修受講歴		研修等の名称		研修		研修の主催者		研修期間(年月～年月)	
		〇〇組合勉強会 〇〇会〇〇研修		〇〇工の基礎的な知識から、応用的な技能まで幅広く学べる研修		〇〇協会 〇〇会		平成28年4月1日～ 令和5年4月1日～	
技能・技術検定以外の資格等		名称			実施主体		取得年月		
	〇〇技師 〇〇管理者(〇種)			〇〇協会 〇〇協会		平成30年4月 令和4年4月			
その他	<p>(そのほか高い技能・技術を有していることが分かる点があればご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに〇〇件の工事に携わり、経験と知識を積む。特に操作が難しく、特別な資格が必要となる〇〇の扱いに長けており、社内の他の従業員の資格取得に向け、講座を開催するなど業界内の技術力向上に貢献。 								
推 せ ん 者 に 係 る 事 項									
団体等の名称・所在地	(名称) 〇〇組合 〒〇〇〇-〇〇〇〇 久留米市〇〇町6-6			照会の場合等の担当者	(所属) 〇〇組合 (氏名) 久留米 三郎 (TEL) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (FAX) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇				